



ゆ〜かり〜ぶす 17号

兵庫高等学校第2学年

学年通信 編集うら話

6組担任 C. I.

「ゆ〜かり〜ぶす」を一年次の F 先生から引き継いで、1年が経とうとしている。学年通信の担当を任せられ、おまけに O 先生から「1ヶ月1号の発行!」との命が出て、気が重くて気が重くて……。こういう仕事は決して嫌いではない。若い頃は、新聞部の顧問を進んで引き受けてたぐらいだから。理由はただ一つ。パソコンが苦手ということ。

「1ヶ月1号の発行!」という目標の達成まで、この号を含めてあと2回。ここまで辿りつけたのは、ひとえに、協力してくださった方々のおかげだ。Word と一太郎 (注) 両刀遣いの T 先生には何度も SOS を出した。その度披露される技の数々に驚嘆するばかり。(ここでその技を身につけようという向上心のなさが、今の私を作り出したということですね。)

職員室の席が隣というだけでたびたび仕事の手を止められて、それにもかかわらざぐく初歩的な質問にも紳士的に答えてくださった Y 先生。感謝しています。そして行事ごとに写真を撮ってくださった先生方。私以外の先生方は、本当にまめに生徒の生き生きした表情をカメラに納めておられた。それらの写真1枚1枚を見ていると、先生方の生徒への愛を感じる。

さらに、陰の協力者が一人。ある時、家で難しい顔をしてパソコンの画面を見ていたら、娘(マンガ好きの次女)が横に来て、「こんなことにどれだけ時間かけてんの?」と言って、私の5倍くらいの速さでその作業をしてくれた。その作業とは、原稿依頼をした生徒からきたGメールを学年通信の画面上に移すという作業。慣れない私にとって、これが一番気の重いことだった。この時以来、この作業は全部娘に外注。

話は少し横道に逸れるが、ある時私がメールを打っていたら、くだんの娘が「下書きを見てメールしてる人なんて見たことない!もう、私がしてあげるから」と言って、今度は私の10倍くらいの速さでやってくれた。もちろん、さすがの私もメールを打つのに下書きを書いたのはこの時が初めて。昨秋、30年ぶりの同窓会の前日に追突事故に遭って、同窓会には欠席せざるを得なかった。今回のメールは、心配をした友人からのメールへの返事だったのだ。私にとって、便りとは便箋に万年筆でサラサラ〜が当たり前だったのが、今や親しい友人に対しても、封筒や葉書で出すと相手は負担に感じるかなと思うぐらいの時代になった。一抹の寂しさを感じながらも、私は私らしくいこうと思っている。なにしろ私の夢は・・70歳くらいのおばあちゃんになった頃は、日々の暮らしは着物に割烹着。炊きたてのご飯は炊飯器からおひつに移して。友人への頼りは和紙の便箋に筆で・・なのだから。

最後に、学年通信の原稿依頼に誠実に応えてくれた生徒の皆さん。ありがとう。以上のような事情、経緯があって通信の発行が遅れることも度々あり、申し訳ありませんでした。

もし3年も私が学年通信の係になったら、出した感想文は必ず掲載されるので、気長に待っていてくださいね。

注：一太郎・国語科教師が主として使っているソフト。世界的規模で見ると絶滅危惧種かも・・

高校生国際問題を考える日
2/8 (土)
大阪大学学生会館

高校生国際問題を考える日に参加して
7組 W. F.



今回の発表会では高校生がそれぞれのテーマで研究し、その成果を発表しました。みんなが同世代ということもあって、発表のひとつ

つひとつに本当に感激して、私のプレゼンはまだまだだなあと感じました。直接意見交換できたのもとても楽しかったです。

今回の発表会に限ったことではないのですが、2年生になって学校を飛び出して活動することが多くなったと思います。いろいろなところに赴いてそこで出会う人たちと意見を共有するのは本当に刺激になるし、自分の考えの甘さを痛感したり、視野が広がったりします。この発表会でも自分の見落とししていたことがまた見つかったので今の内容に加えて、この一年の研究の集大成としていい最終発表ができるようにまだまだ頑張りたいと思います。

高校生と世界

3組 H. T.

今回私は、『高校生「国際問題を考える日」』に、司会の一人として参加しました。

元々国際問題への興味の薄かった私ですが、この日の講演を聞いて、様々なことを学ぶことができました。例えば、夏季・冬季オリンピック競技についての発表では、国際問題は身近なところにもあると知りました。また、フェアトレードについての発表では、日本国内からでも国際問題の解決に向けて働きかけることができると気付くことができました。

ニュースや新聞、学校の授業等でしか接する機会のない国際問題を、様々な視点から眺め、しかも自分と同年代の人々の意見を聞くことができるということはとてもいい刺激になりました。

第66回卒業式 送辞

2月28日に行われた卒業式の送辞を紹介します。

厳しい冬の寒さも日に日に和らぎ、柔らかな日差しの降り注ぐ、暖かな春の訪れが感じられる季節となりました。今日、この佳き日に、晴れて兵庫高校を卒業される六十六回生のみなさん、ご卒業おめでとうございます在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

時が経つのは早く、先輩方が兵庫高校に入学されて早くも三年が過ぎました。先輩方にとって、兵庫高校での三年間はどのようなものだったのでしょうか。おそらく勉強や部活動、行事などに打ち込む忙しくも充実した日々だったのではないのでしょうか。私たちにとって、先輩方と過ごした二年間は長いようで短いものでした。

二年前の王子動物園での歓迎遠足では、いきなりの先輩方との班行動で緊張していた私たちに、優しく接してくださいました。それ

ぞれが楽しみながらも班のことを考えている先輩方の姿に兵庫高校生として、あるべき姿を教えられたように思います。

「革命祭～全力で才能のムダ使い～」のテーマで行われた文化祭では、屋台村、ライブハウス、講堂、一年生のクラス参加部門、武陽祭、至るところで先輩方の姿を見ることができました。カラフルなクラス衣装を身に付け、笑顔で接客する先輩方に影響され、とても楽しい二日間を過ごしました。店番の人や、呼び込みの人、調理している人、みんな楽しそうな様子だったのが印象的でした。また、準備期間でも、文化祭をよりよくするために、完全下校の放送がなるまで学校内を駆け回っていた姿に、強く感動し、憧れを持ちました。

七月の合唱コンクール。本番の何週間も前から、休み時間には必ずと言っていいほど、秋のピエロのハーモニーが聞こえてきました。そして、本番。松江二中との交流会後、文化ホールという素晴らしい舞台上で聞く先輩方の歌声は、私たちのものとは桁違いの迫力でした。美しい歌声に、ただただ圧倒され、私たちも来年こんな風に歌えるのだろうかと不安になったのを覚えています。次の合唱コンクールでは、私たちも先輩方に少しでも近づけるように、クラスで力を合わせて頑張っていきたいと思います。

照りつける日差しの中行われた体育祭でも、先輩方の熱い姿を見ることができました。特に「それいけ三年生」では格好良いクラスや、可愛いクラス、面白いクラスなど、多様なパフォーマンスを披露されていました。息の合った演技に観客は引き込まれ、一クラス終わるごとに「もう終わりか」という残念さと、「次のクラスはどんなパフォーマンスをするのだろうか」という期待でいっぱいになりました。出番が終わった後の先輩方の達成感に溢れた笑顔や、周りの大歓声は忘れることができません。

受験が近づくにつれ、職員室前で勉強している先輩方をよく目にするようになりました。寒い廊下で一心不乱に勉強されている姿から、夢に向かって挑戦することの厳しさと、強い意思を持って行動し続ける大切さを教えていただいたように思います。

また、部活動でも大変お世話になりました。私自身、空手道部に所属していますが、初心者で入部した私を笑顔で迎えてくださり、基本から丁寧に指導してくださいました。先輩の練習を中断させてしまったことも教え切れなかったほどありましたが、その度に優しく教えてくださいました。本当にありがとうございました。

このように行事、勉強、部活動など、いつも先輩方は私たちの前を走っておられまし

た。何事に対しても真面目に、一生懸命取り組むその姿はとても頼もしく、私たちの憧れでした。先輩方と過ごした二年間は何にも代え難い大切な思い出です。

来年度の一年生から一学年八クラスとなり、再来年度から学区再編が実施されるなど、兵庫高校に大きな変化が訪れると思います。しかし、自由な校風を守るために、一人一人が自分を律しながら学校生活を送る、という兵庫高校ならではの伝統をしっかり後輩へと繋げていきたいと思っています。

本日こうして兵庫高校を巣立っていかれる先輩方の胸の中はどのようなものでしょうか。夢や希望が溢れているのでしょうか。これ

から先輩方はそれぞれ違う新しい道を歩んでいかれます。その道にはたくさんの困難もあるかと思いますが。しかし、それらに負けず、先輩方が信じた道をひとつひとつ切り開いていってほしいです。そして、兵庫高校で学んだ「質素剛健・自重自治」の精神を忘れず、自分を信じ、進んでいってください。

先輩方のこれからのご活躍とご健康を心からお祈り申し上げ、送辞の言葉とさせていただきます。

平成二十六年二月二十八日
在校生代表 M. H.

どんな2年だった？ この1年を振り返って～



この1年間、本当にすぐに月日が経ちました。そのくらい楽しかったという事だと思います。特に印象に残っているのは、修学旅行と総合科学類型での発表会です。

修学旅行では、人生で初めての飛行機や、見た事も無いほどの一面の雪や、北海道でのスキーなど、とても思い出深い経験がたくさん出来ました。総合科学類型の発表会では、2年7組全員がそれぞれこの1年間で研究してきた事を発表しました。私個人としては、発表会自体では悔いの残る発表をしてしまいましたが、それでも続けてきた研究はとても有意義なものだったと思います。

これから3年生になり、受験勉強も忙しくなるとは思いますが、行事なども楽しんで、思い出に残る3年生を過ごしたいと思っています。

7組 M. T.

高2といえば修学旅行！今年の寒さは半端なかったけれど、北海道への修学旅行は寒さも吹き飛ばぐらい楽しかったです。部活や勉強で忙しくて眠い毎日でしたが、修学旅行や文化祭、体育祭などの楽しかった思い出でいっぱいです！

4組 A. F.

2年の間、私が一番重きをおいたのは部活動です。辛いこともあったけど、引退を目前にして、部活で得てきたものは一生の宝物になることを実感しています。残り数十日、みんなで最高の宝物を掴み取りにいきます!!

1組 I. W.

不安な気持ちで2年のクラス発表に行ったのが昨日のこのようだ。この一年、これといって何かが大きく進歩したわけではない。しかし、1年の時に比べれば高校生活にも慣れ、3年に比べればゆっくりと過ごせるということで充実した一年を過ごすことができたと思う。

この一年、行事はとても楽しく、強く印象に残った。その一方で毎日の何気ない生活が楽しく、強く印象に残っている。

これからも残り少ない部活も含め、毎日を大切に過ごしていきたい。

6組 K. O.

この一年間は、自分のやりたいことや好きなことばかりやっていたような気がします。特に冬休みはもう思い出したくないくらいダラダラしてしまいました。

来年度からは三年生になるので、今までのようにやりたくないことから目を背けずにいろいろやっていきたいと思います。とりあえず春休みは早寝早起きから頑張ります。

7組 T. Y.

2年生で1番思い出に残っているのは、やっぱり修学旅行です。みんなでしゃべるのも、スキーの実習も、1つ1つの行程が本当に楽しくてもう1度行きたいです。クラスは最初は人数が多くてどうなるのかなど不安でしたが、賑やかで楽しいクラスで良かったです。とても充実した1年間でした。

2組 N. M.

友人の大切さを知りました。昼休みや放課後に遊んだり多くの行事を経て僕自身も大きく変わったとおもいます。そしてちょっとしたどうでもいいようなことや、修学旅行までどれも忘れられない多くのことが出来た2年生でした！

5組 I. Y.

私はとにかく部活に打ち込んだ2年生でした。部長という人の上に立つ立場は苦手で、周りの人に助けてもらいながら今日までやってきました。決して力強い部長ではありませんでしたが、この1年間自分なりに頑張ることが出来たと思います。

2組 M. S.

1年に比べて勉強の面も生活の面もがらっと変わり、始めは戸惑うことが多くなるだろうと不安になっていました。でも、クラスもあたたかく、すぐにとけこむことが出来ました。そんな仲間たちのおかげで行事には積極的に取り組むことができ、体育祭では優勝を手に入れました。

3組は全体のモチベーションも高く、団結して物事を成し遂げる充実感も得ました。そんなクラスの一員になれたことで経験出来たたくさんのことを、これからの学校生活に活かしていきたいと考えます。

3組 T. N.

僕にとって高校2年生は、とても充実したものになりました。文化祭や京都観光、修学旅行とたくさんの行事の中で、クラスや学年の友達ととても楽しい時間を過ごすことができました。今になって振り返ると、本当にあっという間でしたが、充実した1年でした。

1組 Y. S.

「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」とはよく言ったもので、見事に僕は、一寸の光陰を軽んじたことで学を成すことができませんでした。しかし、何物にも代え難い思い出を作ることができました。

5組 N. Y.

一年次と二年次ではクラスメイトが大きく変わり最初はとまどったけど、すぐに馴染めてちょっと安心しました(´▽`)

それ以降の行事とかも楽しめたので2年は全部の行事を楽しめたと思います。3年でも同じような雰囲気の良いクラスがいいです！

3組 Y. N.